

# 環境経営レポート

対象期間 <2022年4月～2023年3月>



株式会社 高橋榮司自動車

発行日 2023年9月30日

## 目 次

1.	事業の概要	2
2.	対象範囲(認証・登録範囲)	2
3.	環境経営方針	3
3.	EA21 推進組織	4
4.	環境経営目標とその実績	5
5.	環境経営計画の取組結果とその評価	8
	次年度の取り組み内容	9
6.	環境関連法規への違反・訴訟等の有無	10
7.	代表者による全体評価と見直しの結果	10



# 1. 事業の概要

- ① 会社名 株式会社 高橋榮司自動車  
(東北運輸局指定民間車検工場)  
代表者 代表取締役 高橋 悦郎
- ② 所在地 〒980-0011  
宮城県仙台市青葉区上杉一丁目16番20号  
TEL 022-265-2355 FAX 022-265-2366  
[info@lotas-takahashi.com](mailto:info@lotas-takahashi.com)
- ③ 資本金 1,000万円  
社員数 6人  
床面積 163.6㎡
- ④ 業務内容 ・車検  
・整備, 定期点検  
・キズ・ヘコミ修理  
・予防整備 など
- ⑤ 沿革
- |          |                                      |
|----------|--------------------------------------|
| 1950年04月 | 仙台市堤通123番9に工場新築<br>「高橋自動車整備工場」開業     |
| 1954年05月 | 小型自動車分解整備事業認証                        |
| 1961年08月 | 住居表示変更<br>仙台市上杉1丁目16番20号             |
| 1970年04月 | 法人化(資本金100万円)<br>「有限会社高橋榮司自動車整備工場」設立 |
| 1984年07月 | 現社屋・整備工場完成                           |
| 1989年02月 | 高橋照子 代表取締役就任                         |
| 1994年10月 | 高橋悦郎 代表取締役就任                         |
| 1996年01月 | 増資(資本金300万円)                         |
| 1996年05月 | 指定整備工場認定                             |
| 1998年10月 | 増資(資本金1000万円)                        |
| 1999年03月 | 「株式会社高橋榮司自動車」へ社名変更                   |
| 2002年01月 | ISO9001 認証取得                         |
| 2008年07月 | 自社完成検査場操業開始                          |
| 2012年01月 | エコアクション21 認証取得                       |

環境経営レポート対象範囲 (=エコアクション21 認証・登録範囲)

- ・対象組織：株式会社高橋榮司自動車全組織(本社・整備工場, 車検検査場)
- ・対象活動：自動車の車検・整備

## 2. 環境経営方針

### <環境理念>

自動車整備を主要事業とする株式会社高橋栄司自動車にとって、人類共通の重要課題である地球環境問題の解決に貢献することは、重要な使命であると認識し、環境負荷削減活動を、これが社会的信頼性確立、収益の確保、働きやすい職場創出と密接に関連するとの基本的考えの下に、自主的・積極的に推進し継続的改善に努めます。

### <行動方針>

1. 環境関連法規制、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 省エネ活動を推進し、二酸化炭素を削減します。
3. 廃棄物の減量化・リサイクルの推進に努めます。
4. 排水量(水使用量)の削減に努めます。
5. リビルト部品及びリサイクルパーツなど環境に配慮した部品の使用を推進します。
6. 毎朝、会社周辺の清掃を行い環境活動に努めます。

この環境方針は、すべての従業員に周知し、公開します。

制定日 2011年2月25日

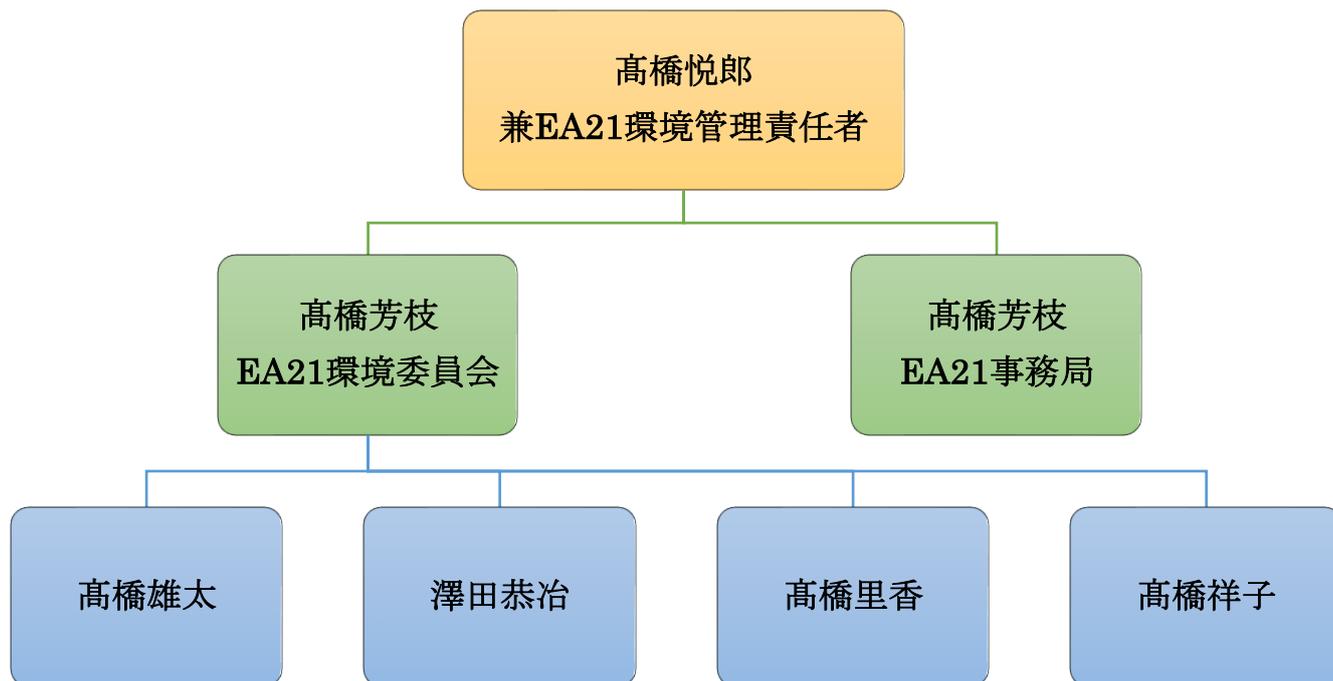
改訂日 2021年12月4日

株式会社 高橋栄司自動車

代表取締役 高橋悦郎



### 3. EA21 推進組織



それぞれの役割，責任及び権限は下記の通りである。

代表者(代表取締役社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。</li> <li>・ 環境経営方針を策定する。</li> <li>・ 環境経営システムの全体的評価と見直しを行い，改善指示を行う。</li> <li>・ 環境への取組に必要な人員・設備・費用等を適切に準備する。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EA21 ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築・運用・維持する。</li> <li>・ 環境管理責任者は代表取締役社長が兼務する。</li> </ul>
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境管理責任者を議長とし全従業員によって構成する。</li> <li>・ 環境経営に関することを審議する。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境管理責任者の指示により，環境経営システムの事務を行う。</li> <li>・ 外部及び内部からの苦情・要望・意見等の受付。</li> </ul>



## 4. 環境経営目標とその実績

### 4.1 中長期環境経営目標

2020年度実績を基準に、中長期環境経営目標を以下のように定める。なお、原単位目標を主とし、絶対値目標は参考とする

項目		2020年度実績	計画			備考
			2021年度	2022年度	2023年度	
二酸化炭素排出量削減		7,654 kg-CO <sub>2</sub>	7,654 kg-CO <sub>2</sub>	7,654 kg-CO <sub>2</sub>	7,654 kg-CO <sub>2</sub>	前年度 実績維持
管理 目標	電力使用量の削減 2200台	10,166kWh 4.62kWh/台	10,166 4.62	10,166 4.62	10,166 4.62	〃
	燃料使用量の削減 (ガソリン)	968ℓ 0.44ℓ/台	968 0.440	968 0.440	968 0.440	〃
	燃料使用量の削減 (ガス)	19m <sup>3</sup>		19m <sup>3</sup>	19m <sup>3</sup>	2022～
廃棄物排出量の削減						
管理 目標	産業廃棄物の削減 廃タイヤ(本)/新品タイヤ(本)	実績管理	実績管理	実績管理	実績管理	註1
	一般廃棄物の削減	956kg (kg/人)	実績管理 159以下	実績管理 159以下	実績管理 159以下	原単位は 6人
用水使用量の削減		101m <sup>3</sup>	101m <sup>3</sup>	101m <sup>3</sup>	101m <sup>3</sup>	前年度
グリーン購入の推進(事務用品)		原則100%	原則100%	原則100%	原則100%	実績維持
自社商品の環境取組						
	エコ整備の拡販 (リユース品使用アップ)	21個	85個	85個	85個	目標は過去の 最大値を基準 としています
	モービル1拡販	実績把握	実績把握	実績把握	実績把握	
	エコタイヤの拡販	実績把握	実績把握	実績把握	実績把握	
化学物質適正管理						
	ブレーキクリーナーの適正管理		適正な管理の 実施	適正な管理の 実施	適正な管理の 実施	
	地域環境への貢献		毎朝、会社周辺の清掃を行う 積雪時、会社周辺の除雪を行う			

註1) 産業廃棄物排出量は、廃タイヤ発生量により大きく影響されます。このため、今後は産業廃棄物のうち廃タイヤ分は別カウントします。なお、廃タイヤ発生量は新品タイヤの販売数に比例するので、これらの数値を実績管理することになります。

## 4.2 2022年度環境経営目標の実績

2022年度（令和4年4月～令和5年3月）の実績は下記の通りです。

環境目標		計画/実施	
		実施:良好○・不十分△	
二酸化炭素排出量削減 基準年度実績維持		R4.4月～R5.3月	
二酸化炭素排出量 (kg・CO <sub>2</sub> )	計画	7,654	○
	実績	6,420	
電力使用量 (kWh)	計画	10,166	○
	実績	9,981	
ガソリン使用量 (ℓ)	計画	968	○
	実績	479	
都市ガス使用量 (m <sup>3</sup> )	計画	19	○
	実績	18	
産業廃棄物 (kg)	計画	実績管理	○
	実績	5,878	
一般廃棄物 (kg)	計画	実績管理	○
	実績	929	
用水使用量 (m <sup>3</sup> )	計画	101	△
	実績	172	
グリーン購入	計画	原則100%	○
	実績	100%購入	
エコ整備	計画	85個	△
	実績	21個	

（購入電力の排出係数：東北電力の2019年度二酸化炭素実排出係数 0.528 kg・CO<sub>2</sub>/kWhを使用）  
 ・会社周り（公道）の清掃は日常活動として実施（評価：○）



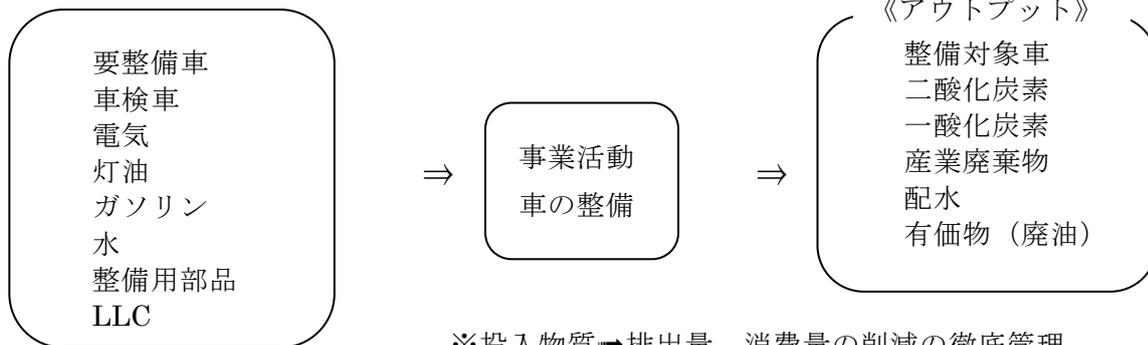
### 4.3 環境負荷の実績推移

エコアクション21取り組み開始以来の環境負荷の推移は下表のとおりです。

環境への負荷		単位	年度												
			2009	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	12,842	12,233	11,995	11,198	11,120	10,313	9,593	7,791	7,250	7,232	7,654	7823	6420
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	未把握	1,179	980	800	497	595	528	580	683	883	956	1054	929
	産業廃棄物	kg	6,164	2,400	1,470	9,100	6,060	4,930	5,290	6,370	5,755	5,658	5,262	6802	5878
総排出量	下水道	m <sup>3</sup>	188	145	260	217	172	119	113	117	105	86	101	177	172
水使用量	上水	m <sup>3</sup>	188	145	260	217	172	119	113	117	105	86	101	177	172
エネルギー使用量	購入電力	kWh	16,440	15,337	15,241	14,671	14,255	13,820	14,169	8,363	10,211	9,992	10,166	10904	9981
	ガソリン	ℓ	1,939	1,850	1,632	1,499	1,534	1,293	1,042	1,303	996	1,087	968	870	479
	灯油	ℓ	162	360	432	342	360	360	198	396	54	0	0	0	0
	ガス	m <sup>3</sup>													18

※2022年から「ガス」を実績に追加しました。

#### ○環境への負荷の状況



※投入物質→排出量，消費量の削減の徹底管理

※排出物質→再利用，再資源化を積極的に行う

#### 高橋栄司自動車 エコアクション21実践10か条

1. 全社員が環境に配慮した意識を持ちます
2. 不要な照明，昼休みの消灯を徹底します
3. リフトの上げ下げを最小限にします
4. 交通安全を最優先にエコドライブをします
5. ゴミの分別を徹底します
6. 洗車時の水の使用を最小限にします
7. 事務用品のエコ商品を購入します
8. 中古・リビルト品を使用した整備をお勧めします
9. モービル1 オイルを積極的に販売します
10. 会社周辺を清掃，降雪時は除雪をします

## 5. 環境経営計画とその取組結果及び評価

環境目標		取組内容	結果	評価
環境 負 荷 削 減	CO <sub>2</sub> 排出量 (電気, 化石 燃料使用量)	<電気> ・不要時の照明消灯 ・エアコンの設定管理徹底 ・必要最小限のリフトの上下 ・残業及び再修理を少なくする ・扇風機付きベスト使用	○	目標数値は達成。 日々の節電と作業効率の向上と8月からの土・日完全週休2日制の導入も達成の要因となった。
		<化石燃料> ・エコドライブの推進 ・車両入替時のエコカー導入	○	目標数値は達成。 エコカー・エコドライブが浸透。
	一般/産業廃 棄物排出量	<一般廃棄物> ・分別の徹底 ・再資源の強化	○	目標数値は達成。 一般廃棄物の処理等は正しく処理されています。
		<産業廃棄物> ・廃タイヤ・廃エレメント・ ・廃プラ・廃クーラント・汚泥等 適正処理(マニフェスト発行) ・再資源化 (廃バッテリー) (廃オイル)	○	目標数値は達成。 産業廃棄物の処理等は正しく処理されています。産業廃棄物の増加は環境経営から考えると仕事量増加となる為今後は実績把握とする
	用水使用量	・洗車時の節水 ・洗車の有料化	△	目標数値は未達成。 用水使用料の増加=仕事量の増加。
グリーン購入	・グリーン製品 ・エコ商品の優先購入	○	優先的にグリーン製品を購入した。 これからもこれを継続する。	
化学物質の適正管理	・ブレーキクリーナーの適正管理	○	適切に管理できている。	
自社商品の環境取組	・エコ整備, リサイクル品, リビルト品を使用推進 ・モービル1オイル積極的販売 ・定期点検の推進	△	目標数値は未達成。 リビルト品・中古品は, 27⇒21個に減少、モービル1オイルは年間台173⇒168台と減少。 整備工場として出来る環境活動(モービル1・定期点検)を今後とも推進していく。	
地域環境への貢献	・会社周辺の清掃・除雪 ・「違法改造車等街頭検査」参加 ・交通指導隊参加(定期上哨) ・町内会・商店会等積極的参加	○	毎朝の近隣の清掃活動の継続。 昨年に続き8月に商店会主催七夕作成、当社にて七夕ポスターの貼り付け作業の実施。	
職場環境改善	・人間的・技術的向上 ・人材不足対応 ・働きやすい会社作り	○	8月から土・日完全週休2日制実施になり、より働きやすい会社になった。	

## <次年度の取組み内容>

次年度（2023年度）の取組み内容は、基本的には今年度（2022年度）と同一とします。



節電及びゴミの削減・分別の促進

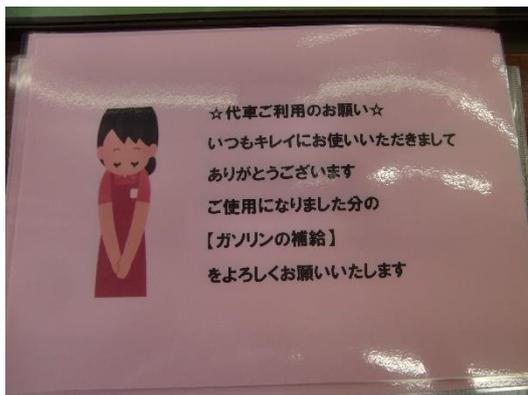
節電及びゴミの削減・分別の促進



低燃費オイルの促進



ガソリン代削減への取り組み



工場及び事業所内 LED 照明へ

ワンストップノズル取付による節水

## 6. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

適用となる主な法規制は以下のとおりで全て遵守しています

適用法規制	主な遵守事項
廃棄物処理法	委託業者との委託契約
	マニフェストの交付, 保管・管理
	廃棄物排出量の届出報告
	廃棄物保管場所の適正管理
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正処理
消防法	消火設備の設置・維持管理
宮城県産業廃棄物の処理の適正化に関する条例	委託先の確認
仙台市火災予防条例	危険物の適正管理

### <違反・訴訟等>

環境関連法規への違反及び近隣住民からの訴訟・苦情等は創業以来ありません。また関連機関からの指摘も同様ありません。

## 7. 代表者による全体評価と見直しの結果

昨今話題でもありますが、人的経営資源の確保の為に、労働環境の改善、即ち働き方改革が、改めて企業側に求められており、ベースアップを含めた賃金の増加と、完全週休二日制を導入した年間休日の増加及び、残業を極力抑えた労働時間の短縮を推し進めてまいりました。そして、それらをもって、今まで以上に生産性を向上させて健全経営を目指してまいります。

約4ヵ月間の工場大規模改修を経て、新年度より本格的な営業を開始できました。これまで、片側2車線の幹線道路及び歩道が設置されている北側だった車両出入口を、比較的交通量の少ない一方通行の東側の道路をメインで利用できるようになり、コインパーキングとの出入口共用化により安全性と利便性が大幅に改善できました。

企業として、長く存続する為の必須条件である、社会的環境における調和を計る意味で大きな意義があったと自負しております。

これからも誠心誠意を旨として、信用第一を創業者から賜った企業理念とし、混迷を深める時代にあっても、多くの関連企業様のお力添え、御協力をいただきながら、自分達ができる事に最善の努力を惜しまない覚悟です。

令和5年9月30日

株式会社 高橋榮司自動車  
代表取締役 高橋 悦郎